

わたしたち、先生1年生!

神奈川で先生として歩み始めた 初任者の学校での様子を紹介します。



小学校

厚木市立毛利台小学校
倉田 葵 先生



Q: 教員の魅力について教えてください

A: 教員の魅力は、児童と一緒に自分も成長していくことができることです。普段は「教える」という立場ですが、学校生活を送る中で、児童が困っているときに一緒に悩んで解決策を探したり、楽しいときに一緒に楽しむことができたりと、喜怒哀楽を共にすることで、児童から学ぶ場面もあります。もちろん大変なことも多いですが、児童から学び、自分自身の成長を実感できる瞬間があることが魅力であると感じています。



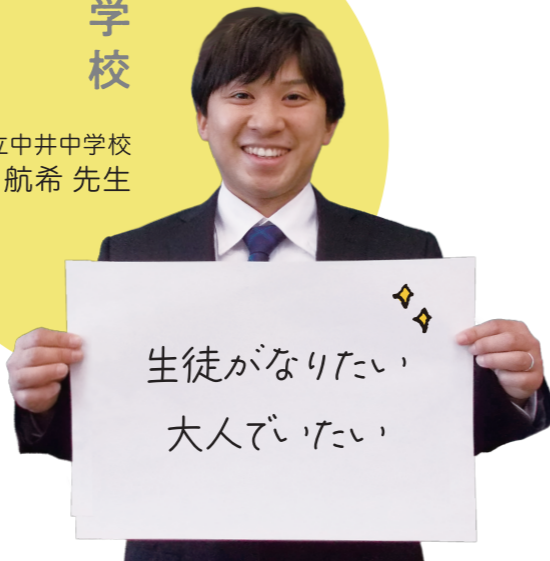
Q: これから手がけたいことや夢はありますか

A: 子どもたちから信頼され、頼られるような教員であり続けたいです。些細なことでも「この先生なら信頼して相談できる」と思ってもらえるようにしたいです。そのために、毎日学級の一人ひとりと言葉を交わすように心掛け、話を聞くときはしっかりと目を見て聞くことを意識しています。また、子どもたちだけではなく、保護者や職場の先生方からも「この先生なら任せられる」と信頼されるようになりたいと思っています。



中学校

中井町立中井中学校
坂本 航希 先生



Q: 職場の様子を教えてください

A: 生徒のために労を惜しまず、新たな取組みを積極的に行おうとする先生が多いです。また、教職員同士のコミュニケーションが良くとれています。そのため、何気ない会話の中で、生徒の細かな様子を伝え合うこともできています。自分が疲れているときも必ず声をかけてくださるため、安心して働くことができます。



Q: ワーク・ライフ・バランスの実現のために、ご自身で工夫されていることや学校などで取り組まれていることがあれば教えてください

A: 見通しをもって仕事を行い、自分の趣味に使える時間を確保しています。また、職員室全体が「帰るときは帰る」、「休めるときは休む」という雰囲気なので、休みも取りやすいです。しっかり休んだ後は心身ともにリフレッシュされ、元気が出て、いつも以上に生徒に明るく接することができます。また、趣味等、幅広い話題を持つことで生徒と話す機会も増えるので、会話も弾みます。



高等学校

神奈川県立
希望ヶ丘高等学校
山内 渚 先生



Q: 神奈川県の教員になってよかったと思うことは何ですか

A: 多くの同期が一同に集い、それぞれの学校事情などを共有できる研修は有意義であると感じました。他校の同期と話し合うことで新たな発見もあり、その発見をヒントにして勤務校での指導に活かすこともできています。また、外部講師による研修もよい刺激を与えてくれ、自らの成長につながっていると感じています。



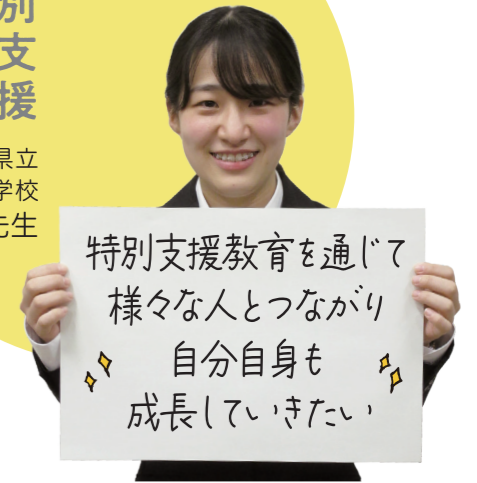
Q: これまでに、やりがいを感じたことを教えてください

A: 生徒が授業に夢中になっている姿を見たときに、やりがいを感じました。正弦定理を生徒たちに考えさせるために、円が描かれたプリントを配付し、その円に三角形を描かせ、計算してみるという授業をしました。生徒は、どんな三角形を描いたとしても同じ値が導き出されることに驚き、その理由を考えることに夢中になっていました。このような活動をとおして定理を考えさせるような授業をこれからもしていきたいです。



特別支援学校

神奈川県立
武山支援学校
望月 沙友里 先生



Q: 1日の生活パターンについて教えてください

A: 学校到着後、1日の予定や自分の役割を確認しています。朝の打合せ後、スクールバス等で登校する子どもたちを学校に迎え入れ、荷物整理や着替えなどの日常生活場面の指導を行います。朝の会で子どもたちと1日の予定を確認し、授業に入ります。給食は、事前の準備と食事指導と時間をかけて行っています。午後の授業後、着替えや荷物整理、帰りの会を行い、下校となります。下校後は、教室の清掃や環境整備、翌日の授業準備、クラスや学年での打合せを行います。日々の業務は多忙ではありますが、早く帰る曜日を決めるなど、余暇や自分の趣味を充実させる時間も意識的に作るようにしています。



Q: 受験者へのメッセージをお願いします

A: 小学生の頃から教員をめざし、現在、教員として働くことができています。教員になる前は子どもたちのために頑張りたいという思いをもっていました。働く中で、子どもたちだけではなく、保護者や地域の方のためにも頑張りたいという思いに変わりました。教員の仕事をとおして自分が成長することで、見え方や考え方が広がります。皆さんも様々な思いを大切にしながら、一緒に成長していきませんか。神奈川の教員をめざして頑張ってください。応援しています。

